

講演番号 鉄道技術連合シンポジウム原稿見本

正 [機] ○機械 車輛 (機械大) 正 [電] 電気 信号 (水力発電)

学 [土] 土木 軌道 (構造研)

Sample of J-RAIL Paper

Syaryo KIKAI, Kikai Univ. 5-5-5, Tetsudo-cho, Gijutsu City

Shingo DENKI, Water Electric Power Co.

Kido DOBOKU, Kouzo Research Institute

J-RAIL will be held in this December. It is organized by Japan Society of Mechanical Engineers (JSME). The objectives of this symposium are to present and discuss the state of the art of the scientific and technical aspects of railway systems. The J-RAIL symposium will bring the opportunity for expert engineers, researchers and scientists in these fields to communicate and exchange the common and/or latest information about railway vehicle, facility, infrastructure, and total railway transportation systems.

Keywords : vehicle, dynamics, control, design, power supply, signaling system, train control, track, bridges, stations, tunnels

1. はじめに

機械工学, 電気工学, 土木工学の研究者および技術者が一堂に会して最近の鉄道一般技術における研究成果を発表するシンポジウム(鉄道技術連合シンポジウム)を開催いたします。

また, これと併せまして, 自動車, 鉄道・新交通, 航空・宇宙, 船舶・海洋, 昇降機, レジャー・遊戯施設, 物流システム, 荷役・搬送, 建設機械などの交通・物流に関する研究発表講演会(交通・物流部門大会)を同時併催いたします。

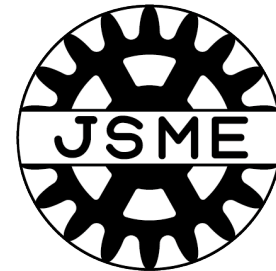


Fig.1 Sample

Table 1 Sample

2. 申し込み方法

講演希望者ははじめに, 日本機械学会交通物流部門ホームページにアクセスの上, 掲載の講演会申込手順に従いお申込み下さい。

<http://www.jsme.or.jp/conference/tldconf21/index.html>

(併催の TRANSLOG と同一のホームページ)

J-RAIL 用の執筆要項は掲載ホームページをご確認下さい。

なお, 論文採用, 発表セッションの最終決定は大会実行委員会にご一任下さい。

3. 原稿作成について

3.1 J-RAIL 用原稿の様式

原稿作成要領は日本機械学会の様式に準じます。本原稿例はその書式に沿って書かれておりますので, これを元に, 上書き作成されても宜しいかと存じます。

A4 サイズの用紙 2~4 ページ (3 ページも可) で作成してください。

上下の余白はそれぞれ 20mm, 左右の余白はそれぞれ 15mm です。

1 ページ目はタイトル (和文, 16point), 著者名および所属 (和文, 10.5point), タイトル (英文, 12point), 著者名および所属 (英文, 9point), アブストラクト (英文, 9point), キーワード (英文, 9point) の順で, 段組無しで記述します。

本文は 2 段組とし中央の余白は 10mm とします。9 point の文字の大きさで, 1 行の標準文字数は全角 26 文字となります。1 ページの標準行数は 60 行です。

その他は日本機械学会のホームページにある原稿作成の手引き (<http://www.jsme.or.jp/conrule.htm>) に準じます。ただし, この手引きは機械学会向けに書かれているため 3 学会共催となる J-RAIL の場合, 若干の修正が必要となります。

3.2 J-RAIL 用原稿の冒頭書式の注意事項

著者名のところに記入する会員種別については、機械、電気、土木の学会種別が分かるように[機],[電],[土]の略号を記入して下さい。

正員(正会員)資格の場合は“正”, 学生員(学生会員)資格の場合には, “学”と付し, 発表者には“○”を記入します。

3.3 J-RAIL 用原稿の図表の取扱い

図表については原則として段組の 1 段に収まるようにして下さい。日本機械学会の様式に準じ, 図表はタイトル, 説明とも英文で記述することを基本としますが, 日本語を妨げないこととします。

3.4 原稿提出に関するお願い

詳細は後日更新されるホームページ等をご参照下さい。原稿送付にあたっての注意事項は以下の通りです。

- ・講演論文の PDF ファイルによる電子投稿でご提出ください。
- ・作成した PDF ファイルについては, できる限り, 複数の PC 上で文字化け等が発生しないか確認の上, ご提出下さい。特に, 講演論文は必ず印刷して図の解像度などをご確認下さい。
- ・講演論文ともに, 提出期限を厳守して下さい。提出期限はホームページをご参照下さい。

4. 終わりに

その他質問事項がありましたら, 実行委員会までお問い合わせ下さい。(tldconf21@jsme.or.jp)

参考文献

- 1) 名前 1, 名前 2: 参考文献名, 出典, 出典中における当該文献の記載ページ数, 日付
- 2) 竹原昭一郎, 菅原能生, 太田衆一郎, 牧島信吾: 鉄道車両における運動と振動の解析, 日本機械学会論文集 (C 編), 79 巻 543 号, pp.1775-1782, 1981
- 3) Smith, W., et al. : Cellular phone positioning and travel times estimates, Proc. of 8th ITS World Congress, CD-ROM, 2000